

国際教養学部言語文化学科		特任講師	古畑 侑亮	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	講義科目(大規模)に関して —動画・アプリの活用—	2024年～	講義においては、学生の反応を確かめながらの授業を心がけている。 取り上げるテーマや対象について学生のイメージや理解度をresponによる回答を通して把握してから講義を始めるようにしている。また、時代のイメージや前提知識を補ってもらうために動画を積極的に活用した授業構成を試みている。 講義後にはmanabaを使ってコメントシートを提出してもらい、翌週の授業の前半は割いてフィードバックを行っている。これによって意見や感想を全体で共有するとともに、受講生の要望を授業に反映させるべく努めている。	
2	講義科目(小規模)に関して —モノ資料・動画・アプリの活用—	2024年～	教員が私蔵している書籍や古文書を随時閲覧することで、モノを通して学生の歴史意識を刺激することを試みている。また、時代のイメージや前提知識を補ってもらうために、動画を積極的に活用した授業を行っている。講義後には、時間の許す限り1人ずつ感想を求め、講義で扱った知見に対する印象をその場で共有するようにしている。その上で、考えたことをコメントシートにて文字化してもらうことで知識の定着を図るとともに、翌週に行う教員からのフィードバックや授業改善の手がかりとしている。	
3				
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	「新書からレジュメ、そしてレポートへ」	2021年～	本の読み方やレジュメ・レポートの作成方法についてポイントをまとめたPDF教材。学生の反応を見て、毎年アップデートしながら使用している。	
2	「プレゼンテーションの基本」	2021年～	パワーポイントの作成方法やプレゼンのやり方についてポイントをまとめたスライド教材。学生の反応を見て、毎年アップデートしながら使用している。	
3				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1				
2				
3				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				
2				
3				

国際教養学部言語文化学科	特任講師	古畑 侑亮	大学院の授業担当 無
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
2015年4月 - 現在	東京歴史科学研究会 運営委員		
2019年4月 - 2024年3月	「書物・出版と社会変容」研究会 幹事		
2015年6月 - 2022年5月	歴史学研究会日本近世史部会 運営委員		
	運営委員長(2020年6月 - 2021年5月)		
	会計(2019年6月 - 2020年5月)		
	会計補佐(2018年6月 - 2019年5月)		
2018年8月 - 2019年9月	第58回近世史サマーセミナー実行委員長		
2013年10月 - 2014年7月	第53回近世史サマーセミナー 実行委員		
その他			
科学研究費助成事業: 研究成果公開促進費「コレクションと歴史意識—十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし—」研究代表者(2023年度) 若手研究「アカデミズムと在野の間—井上頼因を結節点とした明治期国学ネットワークの解明—」研究代表者(2023年度~2025年度) 研究活動スタート支援「19世紀における国学者の歴史意識と遺跡・遺物観」研究代表者(2021年度~2022年度) 基盤研究(A)「アーカイブズとしての書籍—書籍史料を次世代に伝えるために—」研究分担者(2018年度~2022年度)			
受賞歴: 第17回「徳川奨励賞」(2019年・公益財団法人徳川記念財団)			
社会貢献活動: ハイブリッド講演会「お江戸night's」(月例開催) 街歩き企画「エド散歩」(月例開催)			